

お寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

No.	意見原文	意見の概要	意見に対する市の考え方	担当課室
1	産業まつりで出店などへの投票システムを導入する。初めて来る方も店を回る目安になると思うから。	産業まつりにおいて、来場者が各出店者への感想等を投票し、その場で可視化することで、他の来場者が店を回る際の参考にできるようなシステムを構築してほしい。	ご提案いただいた企画は、初めて産業まつりに来場した人にとって、行きたいお店を選ぶ際の良いきっかけとなり、会場全体がますます盛り上がる魅力的で素晴らしいものだと考えております。一方で、システム導入には費用が伴うため、予算を踏まえながら、実現の可能性を検討してまいります。	商工観光課
2	障害や年齢関係なくできる遊びやスポーツが行えるイベントを開催する。どんな人でも交流できると良い街になると思うから。	誰もが楽しめる遊びやスポーツが行えるイベントを開催してほしい。	毎年、障がいのある方との交流を通じて、福祉やボランティア活動への理解と関心を深める「ふれあいまつり」や、障がいや年齢に関わらずスポーツを体験できる「バラスポーツフェスティバル」などが開催されています。 こうしたイベントをさらに幅広く多くの人に周知できるよう努めてまいります。	福祉課 交流推進課
3	保育園の無償化。子どもや保護者への支援が必要だと思うから。	保育園を無償化してほしい。	保育所・園の利用者負担金(保育料)は、3~5歳児全員と0~2歳児の第2子以降は無償化しており、現在、保育料を納付していただいているのは0~2歳児の第1子のみとなっております。 保育料を全て無償化することについては、国や県の動向を注視するとともに、保育士配置などの保育体制や、市の財政状況を考えながら検討を進めてまいります。	子ども未来課
4	奇跡の一本松をこれからも残していく。復興の象徴である松の木を残していくことで震災を忘れないようにしたいから。	震災の記憶の風化を防ぐため、奇跡の一本松を今後も残してほしい。	いただいたご意見のとおり、奇跡の一本松は、震災の記憶を伝える復興のシンボルとして非常に重要な役割を果たしております。今後も残していくよう努めてまいります。	土地活用推進課
5	伝統芸能の後継者を増やすために体験会などを開く。自分たちが行った剣舞を始め、様々な伝統芸能があることを知り、後世に残したいと考えたから。	伝統芸能を後世に残していくため、後継者育成の場をつくってほしい。	市民芸術祭等で郷土芸能が目に触れる機会を作るとともに、郷土芸能団体連絡協議会と協力し、体験会を開催することを検討してまいります。	教育総務課